

『 若葉カップ埼玉県予選会を終えて 』

5/29(日)アスカル幸手体育館に8時集合でウォーミングアップの予定

車から降りて、アップ場所に向かうと、チームカラーの紫色のシャツを着たところジュニ戦士たちと、保護者も全員が紫色シャツを着ていてびっくりしました。最近のチームのまとまりを感じました。

ゴールデンウィークから男子の保護者と女子の保護者(どちらもお父さんたち)による今年度の他チームの戦力分析チームが立ち上がりました。すごいデータ収集力に、これまたびっくり。

女子は、データの的には5年生以下を強化しないとポイントがライバルに足りないことがわかり、1カ月間みっちり練習をしました。本番の相手のオーダーは、戦力分析チームが考えた通りのオーダーでした。しかし、あと少しおよばず、負けてしまいました。

男子もデータ通りで「決勝は、真っ向勝負しかない。それでも勝利は難しいです。」という戦力分析チームの意見。私もそう思いましたが、団体戦はやってみないとわからないことを25年ジュニアにかかわってきて身に染みて感じていました。5コートでの一斉試合です。ダブルス2本がポイントを奪われ、5単はやた、4単ゆうたがポイントを取り、残るは6単で決まる場面になりました。相手は、6年生のナショナルメンバー、とこジュニは5年生のナショナルメンバーのたいち、観客も本部席も1学年上のナショナルメンバーが勝つと思われていました。試合が始まり観客席を見上げると、1コートだったので、横と後ろの2面に紫色の応援団がびっしり陣取っていました。声を出しての応援が禁止のため、たいちがショットを決めるたびに「大好きとこジュニ」応援歌の出だしの手拍子をみんなで合わせました。どんなに相手にとってプレッシャーになったことでしょうか。

そして、「なんと」「なんと、なんと」たいちがファイナルで勝ちました。緑川ひろき先輩が6年生以来、10年ぶりの京都への出場を決めました。

来年こそ男女で京都に行くぞ！

今回の大会は、さいたま市で社会人のランキングサーキットと重なり、本部役員の人数が少なく、とても忙しい中、「後藤さん、監督やってきていいよ」と本部の皆さんが快く送り出してくれて、コーチに入ることができました。本当にありがとうございました。

G

京都でまってるよ！
あと1か月もっと強
くなって来い！

